

3341 パリ取材：発信の仕方

時系列的に目撃と出来事を発信することで、ご一緒してもらっているような気になっていただければ幸い。皆さんならこの条件下、身体と時間どのように使われたか。考え方や価値観、感性は違うものの、日々の出来事の対処はいかにされたか。



サン・ラザール駅、構内と裏の陸橋から

冒頭から年齢のことを書きましたが、弱々しいと思われれば、安全面で旅の危険が増すもの。

日頃の訓練がいかに大切か、この旅で痛感、便利で楽なことを過剰に求めない。

アナログ、強がりでも、強い心を鍛えることの大切さ。まさかは発生する。身の程も再確認。

無事、思い出いっぱい持ち帰れたのだから大成功。

今後はそうは行かない。多分に強がり。帰国後もいつものように、昨日は京都も雪景色。

午前6時、アトリエを飛び出した。昨日の雪景色、飛び入りで次に。



パリの天気は、想定外の雨模様が続いた。

ニュースを見ていれば、お国の事情も天候も何となくわかるもの。

旅の始まりは、凱旋門屋上から

曇天もまた一興。与えられた条件下、どう面白く時間を使うか、。

エッフェル塔も最上部はかすんで見えない。

いろいろな資料も見ることができて、予備知識とともに東西南北、街の概略は確認できた。

行動開始。

